



2024年2月28日

各 位

会 社 名 J ト ラ ス ト 株 式 会 社
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 藤 澤 信 義
 (コ ー ド 8 5 0 8 ス タ ン ダ ー ド 市 場)
 問 い 合 わ せ 先 執 行 役 員 経 理 部 長 小 田 克 幸
 電 話 番 号 0 3 - 4 3 3 0 - 9 1 0 0

(訂正・数値データ訂正) 「2023年12月期 決算短信〔IFRS〕(連結)」の
 一部訂正に関するお知らせ

2024年2月13日に公表いたしました「2023年12月期 決算短信〔IFRS〕(連結)」の記載内容につきまして、一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、数値データにも訂正がありましたので、訂正後のデータも送信いたします。

なお、訂正箇所には下線を付して表示しております。

記

＜サマリー情報＞

1. 2023年12月期の連結業績(2023年1月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績

【訂正前】

	営業収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		当期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期	114,279	39.3	8,059	△44.8	9,772	△43.2	<u>16,411</u>	<u>22.3</u>	<u>15,951</u>	<u>26.3</u>	<u>25,291</u>	<u>29.5</u>
2022年12月期	82,038	—	14,589	—	17,205	—	13,422	—	12,632	—	19,522	261.8

	基本的1株当たり 当期利益	希薄化後1株当たり 当期利益	親会社所有者帰属 持分当期利益率	資産合計 税引前利益率	営業収益 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年12月期	<u>117.74</u>	<u>117.74</u>	<u>11.9</u>	0.8	7.1
2022年12月期	110.75	110.75	11.9	2.0	17.8

(参考) 持分法による投資損益 2023年12月期 615百万円 2022年12月期 544百万円

【訂正後】

	営業収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		当期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期	114,279	39.3	8,059	△44.8	9,772	△43.2	<u>16,769</u>	<u>24.9</u>	<u>16,310</u>	<u>29.1</u>	<u>25,649</u>	<u>31.4</u>
2022年12月期	82,038	—	14,589	—	17,205	—	13,422	—	12,632	—	19,522	261.8

	基本的1株当たり 当期利益	希薄化後1株当たり 当期利益	親会社所有者帰属 持分当期利益率	資産合計 税引前利益率	営業収益 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年12月期	<u>120.39</u>	<u>120.39</u>	<u>12.1</u>	0.8	7.1
2022年12月期	110.75	110.75	11.9	2.0	17.8

(参考) 持分法による投資損益 2023年12月期 615百万円 2022年12月期 544百万円

2. 配当の状況

【訂正前】

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	親会社所有者 帰属持分当り率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年12月期	—	0.00	—	10.00	10.00	1,167	9.0	1.0
2023年12月期	—	1.00	—	13.00	14.00	1,927	<u>11.9</u>	1.3
2024年12月期(予想)	—	0.00	—	14.00	14.00		30.0	

【訂正後】

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	親会社所有者 帰属持分当り率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年12月期	—	0.00	—	10.00	10.00	1,167	9.0	1.0
2023年12月期	—	1.00	—	13.00	14.00	1,927	<u>11.6</u>	1.3
2024年12月期(予想)	—	0.00	—	14.00	14.00		30.0	

3. 2024年12月期の連結業績予想 (2024年1月1日～2024年12月31日)

【訂正前】

	営業収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	128,000	12.0	7,400	<u>△8.2</u>	8,200	<u>△16.1</u>	6,400	<u>△59.9</u>	46.61

【訂正後】

	営業収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	128,000	12.0	7,400	<u>△8.2</u>	8,200	<u>△16.1</u>	6,400	<u>△60.8</u>	46.61

<添付資料：2ページ>

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

【訂正前】

当連結会計年度において、当社グループは、営業収益が過去最大となる114,279百万円（前年同期比39.3%増）を計上するなど順調な成長を遂げました。また、営業利益は、当社グループが2018年3月期に国際財務報告基準（IFRS）に移行して以来、Nexus Bank株式会社（以下、

「Nexus Bank」という。)の取得に伴う負ののれん発生益を計上した前連結会計年度に次いで、過去2番目となる8,059百万円(前年同期比44.8%減)となりました。さらに、親会社の所有者に帰属する当期利益は、Nexus Bankの吸収合併に伴い繰延税金負債6,548百万円を取崩したこと等により15,951百万円(前年同期比26.3%増)となり、IFRS移行以来、過去最大となる収益を計上いたしました。

【訂正後】

当連結会計年度において、当社グループは、営業収益が過去最大となる114,279百万円(前年同期比39.3%増)を計上するなど順調な成長を遂げました。また、営業利益は、当社グループが2018年3月期に国際財務報告基準(IFRS)に移行して以来、Nexus Bank株式会社(以下、「Nexus Bank」という。)の取得に伴う負ののれん発生益を計上した前連結会計年度に次いで、過去2番目となる8,059百万円(前年同期比44.8%減)となりました。さらに、親会社の所有者に帰属する当期利益は、Nexus Bankの吸収合併に伴い繰延税金負債6,548百万円を取崩したこと等により16,310百万円(前年同期比29.1%増)となり、IFRS移行以来、過去最大となる収益を計上いたしました。

<添付資料：2ページ>

1. 経営成績等の概況

- (1) 当期の経営成績の概況
(経営成績の状況)

【訂正前】

(省略)

また、親会社の所有者に帰属する当期利益は、Nexus Bankを吸収合併したことによる繰延税金負債の戻入れ等により法人税、住民税及び事業税が減少したことにより、IFRS移行以来、過去最大となる15,951百万円(前年同期は12,632百万円)を計上することとなりました。

【訂正後】

(省略)

また、親会社の所有者に帰属する当期利益は、Nexus Bankを吸収合併したことによる繰延税金負債の戻入れ等により法人税、住民税及び事業税が減少したことにより、IFRS移行以来、過去最大となる16,310百万円(前年同期は12,632百万円)を計上することとなりました。

<添付資料：6ページ>

1. 経営成績等の概況

- (2) 当期の財政状態の概況

【訂正前】

(省略)

資本につきましては、前連結会計年度末に比べ35,865百万円増加し168,215百万円となりました。これは主に、親会社の所有者に帰属する当期利益を15,951百万円計上したこと等により利益剰余金が15,474百万円増加したことに加えて、ミライノベートの吸収合併等により資本剰余金が11,636百万円、海外子会社等の換算差額の増加等によりその他の資本の構成要素が7,226百万円増加したこと等により増加したものです。

【訂正後】

(省略)

資本につきましては、前連結会計年度末に比べ35,865百万円増加し168,215百万円となりました。これは主に、親会社の所有者に帰属する当期利益を16,310百万円計上したこと等により利益剰余金が15,474百万円増加したことに加えて、ミライノベートの吸収合併等により資本剰余金が11,636百万円、海外子会社等の換算差額の増加等によりその他の資本の構成要素が7,226百万円増加したこと等により増加したものです。

<添付資料：10ページ>

1. 経営成績等の概況

(4) 今後の見通し

【訂正前】

(省略)

以上のことから、翌連結会計年度（2024年1月1日から2024年12月31日まで）の連結業績につきましては、日本金融事業で安定的な収益が見込まれることや、韓国や東南アジアの金融事業で銀行業における貸出金が増加し利息収益の増加が見込まれること、これまでのM&Aの成果として収益基盤のより一層の強化が図れたこと等により、営業収益は128,000百万円（前年同期比12.0%増）を見込んでおります。営業利益につきましては、韓国及びモンゴル金融事業、東南アジア金融事業において、基準金利の利下げの実施等は不透明なもの、今後極端な収益悪化はないものと考えられることや、経営環境の悪化による債権の不良化等に備えて貸倒引当金（損失評価引当金）を予め積み増していることから翌連結会計年度の業績の回復を見込んで一方、当連結会計年度に計上したミライノベートの吸収合併に伴う負ののれん発生益が剥落することから7,400百万円（前年同期比8.2%減）と見込んでおります。また、親会社の所有者に帰属する当期利益につきましては、当連結会計年度にNexus Bankの吸収合併に伴う繰延税金負債の戻入れにより法人所得税費用が減少したことに比べ増加することから6,400百万円（前年同期比59.9%減）を見込んでおります。

(省略)

【訂正後】

(省略)

以上のことから、翌連結会計年度（2024年1月1日から2024年12月31日まで）の連結業績につきましては、日本金融事業で安定的な収益が見込まれることや、韓国や東南アジアの金融事業で銀行業における貸出金が増加し利息収益の増加が見込まれること、これまでのM&Aの成果として収益基盤のより一層の強化が図れたこと等により、営業収益は128,000百万円（前年同期比12.0%増）を見込んでおります。営業利益につきましては、韓国及びモンゴル金融事業、東南アジア金融事業において、基準金利の利下げの実施等は不透明なもの、今後極端な収益悪化はないものと考えられることや、経営環境の悪化による債権の不良化等に備えて貸倒引当金（損失評価引当金）を予め積み増していることから翌連結会計年度の業績の回復を見込んで一方、当連結会計年度に計上したミライノベートの吸収合併に伴う負ののれん発生益が剥落することから7,400百万円（前年同期比8.2%減）と見込んでおります。また、親会社の所有者に帰属する当期利益につきましては、当連結会計年度にNexus Bankの吸収合併に伴う繰延税金負債の戻入れにより法人所得税費用が減少したことに比べ増加することから6,400百万円（前年同期比60.8%減）を見込んでおります。

(省略)

<添付資料：12ページ>

3. 連結財務諸表及び主な注記

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

【訂正前】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
(省略)		
非継続事業		
非継続事業からの当期損失 (△)	△243	△561
当期利益	13,422	16,411
当期利益の帰属		
親会社の所有者	12,632	15,951
非支配持分	790	459
当期利益	13,422	16,411
1株当たり当期利益又は 1株当たり当期損失 (△) (親会社の所有者に帰属)		
基本的1株当たり当期利益又は 基本的1株当たり当期損失 (△) (円)		
継続事業	115.13	121.84
非継続事業	△4.38	△4.10
合計	110.75	117.74
希薄化後1株当たり当期利益又は 希薄化後1株当たり当期損失 (△) (円)		
継続事業	115.13	121.84
非継続事業	△4.38	△4.10
合計	110.75	117.74

【訂正後】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
(省略)		
非継続事業		
非継続事業からの当期損失 (△)	△243	△203
当期利益	13,422	16,769
当期利益の帰属		
親会社の所有者	12,632	16,310
非支配持分	790	459
当期利益	13,422	16,769

1株当たり当期利益又は		
1株当たり当期損失(△)		
(親会社の所有者に帰属)		
基本的1株当たり当期利益又は		
基本的1株当たり当期損失(△)(円)		
継続事業	115.13	121.84
非継続事業	△4.38	△1.45
合計	110.75	120.39
希薄化後1株当たり当期利益又は		
希薄化後1株当たり当期損失(△)(円)		
継続事業	115.13	121.84
非継続事業	△4.38	△1.45
合計	110.75	120.39

<添付資料：13ページ>

3. 連結財務諸表及び主な注記

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結包括利益計算書)

【訂正前】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
当期利益	13,422	16,411
(省略)		
当期包括利益	19,522	25,291
当期包括利益の帰属		
親会社の所有者	16,873	23,777
非支配持分	2,649	1,513
当期包括利益	19,522	25,291

【訂正後】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
当期利益	13,422	16,769
(省略)		
当期包括利益	19,522	25,649
当期包括利益の帰属		
親会社の所有者	16,873	24,135
非支配持分	2,649	1,513
当期包括利益	19,522	25,649

<添付資料：14ページ>

3. 連結財務諸表及び主な注記

(3) 連結持分変動計算書

当連結会計年度（自 2023年1月1日 至 2023年12月31日）

【訂正前】

(単位：百万円)

	資本金	資本 剰余金	自己株式	利益 剰余金	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本合計
2023年1月1日時点の残高	90	103,920	△7,690	21,077	△128	117,268	15,081	132,349
当期利益	—	—	—	<u>15,951</u>	—	<u>15,951</u>	459	<u>16,411</u>
その他の包括利益	—	—	—	—	7,825	7,825	1,054	8,880
当期包括利益合計	—	—	—	<u>15,951</u>	7,825	<u>23,777</u>	1,513	<u>25,291</u>
(省略)								
連結範囲の変動	—	—	—	<u>381</u>	△171	<u>209</u>	△1	<u>207</u>
子会社に対する所有持分の 変動額合計	—	△26	—	<u>381</u>	△171	<u>183</u>	32	<u>215</u>
所有者との取引額合計	—	11,636	△18	<u>△477</u>	△598	<u>10,542</u>	32	<u>10,574</u>
2023年12月31日時点の残高	90	115,557	△7,709	36,552	7,098	151,588	16,626	168,215

【訂正後】

(単位：百万円)

	資本金	資本 剰余金	自己株式	利益 剰余金	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本合計
2023年1月1日時点の残高	90	103,920	△7,690	21,077	△128	117,268	15,081	132,349
当期利益	—	—	—	<u>16,310</u>	—	<u>16,310</u>	459	<u>16,769</u>
その他の包括利益	—	—	—	—	7,825	7,825	1,054	8,880
当期包括利益合計	—	—	—	<u>16,310</u>	7,825	<u>24,135</u>	1,513	<u>25,649</u>
(省略)								
連結範囲の変動	—	—	—	<u>22</u>	△171	<u>△148</u>	△1	<u>△150</u>
子会社に対する所有持分の 変動額合計	—	△26	—	<u>22</u>	△171	<u>△175</u>	32	<u>△142</u>
所有者との取引額合計	—	11,636	△18	<u>△835</u>	△598	<u>10,183</u>	32	<u>10,215</u>
2023年12月31日時点の残高	90	115,557	△7,709	36,552	7,098	151,588	16,626	168,215

<添付資料：15ページ>

3. 連結財務諸表及び主な注記

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書
【訂正前】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前利益	17,205	9,772
非継続事業からの税引前損失 (△) (省略)	△228	<u>△687</u>
その他の損益 (△は益) (省略)	△2,699	<u>△3,582</u>
その他	2,037	<u>△375</u>
営業活動によるキャッシュ・フロー (省略)	<u>49,518</u>	<u>△47,079</u>

【訂正後】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前利益	17,205	9,772
非継続事業からの税引前損失 (△) (省略)	△228	<u>△329</u>
その他の損益 (△は益) (省略)	△2,699	<u>△3,553</u>
その他	2,037	<u>△762</u>
営業活動によるキャッシュ・フロー (省略)	<u>49,518</u>	<u>△47,079</u>

<添付資料：20ページ>

3. 連結財務諸表及び主な注記

(5) 連結財務諸表に関する注記事項
(非継続事業)

2. 非継続事業の業績

【訂正前】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
非継続事業の損益		
収益 (注) 1	1,634	<u>843</u>
費用 (注) 2	1,863	<u>1,531</u>
非継続事業からの税引前損失 (△)	△228	<u>△687</u>
法人所得税費用	15	<u>△126</u>
非継続事業からの当期損失 (△)	△243	<u>△561</u>

(注) 1. 当連結会計年度において、再生可能エネルギー事業に係る資産を譲渡したことによる固定資産売却益が401百万円、PT JTRUST OLYMPINDO MULTI FINANCEの全株式を譲渡したことによる支配の喪失による利得が160百万円含まれております。

2. 前連結会計年度において、SAMURAI TECHNOLOGY(株)の全株式を譲渡したことによる支配の喪失による損失が14百万円含まれております。

【訂正後】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
非継続事業の損益		
収益(注)1	1,634	<u>827</u>
費用(注)2	1,863	<u>1,156</u>
非継続事業からの税引前損失(△)	△228	<u>△329</u>
法人所得税費用	15	<u>△126</u>
非継続事業からの当期損失(△)	△243	<u>△203</u>

(注) 1. 当連結会計年度において、再生可能エネルギー事業に係る資産を譲渡したことによる固定資産売却益が401百万円、PT JTRUST OLYMPINDO MULTI FINANCEの全株式を譲渡したことによる支配の喪失による利得が131百万円含まれております。

2. 前連結会計年度において、SAMURAI TECHNOLOGY(株)の全株式を譲渡したことによる支配の喪失による損失が14百万円含まれております。

<添付資料：21ページ>

3. 連結財務諸表及び主な注記

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(1株当たり情報)

【訂正前】

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
(基本的1株当たり利益の算定上の基礎)		
親会社の所有者に帰属する継続事業からの当期利益(百万円)	13,131	16,507
親会社の所有者に帰属する非継続事業からの当期損失(△)(百万円)	△499	<u>△555</u>
合計	12,632	<u>15,951</u>
(希薄化後1株当たり利益の算定上の基礎)		
親会社の所有者に帰属する継続事業からの当期利益(百万円)	13,131	16,507
親会社の所有者に帰属する非継続事業からの当期損失(△)(百万円)	△499	<u>△555</u>
合計	12,632	<u>15,951</u>
(省略)		
基本的1株当たり当期利益又は 基本的1株当たり当期損失(△)(円)		
継続事業	115.13	121.84
非継続事業	△4.38	<u>△4.10</u>
合計	110.75	<u>117.74</u>
希薄化後1株当たり当期利益又は 希薄化後1株当たり当期損失(△)(円)		
継続事業	115.13	121.84
非継続事業	△4.38	<u>△4.10</u>
合計	110.75	<u>117.74</u>

【訂正後】

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
(基本的1株当たり利益の算定上の基礎)		
親会社の所有者に帰属する継続事業からの 当期利益(百万円)	13,131	16,507
親会社の所有者に帰属する非継続事業からの 当期損失(△)(百万円)	△499	<u>△197</u>
合計	12,632	<u>16,310</u>
(希薄化後1株当たり利益の算定上の基礎)		
親会社の所有者に帰属する継続事業からの 当期利益(百万円)	13,131	16,507
親会社の所有者に帰属する非継続事業からの 当期損失(△)(百万円)	△499	<u>△197</u>
合計	12,632	<u>16,310</u>
(省略)		
基本的1株当たり当期利益又は 基本的1株当たり当期損失(△)(円)		
継続事業	115.13	121.84
非継続事業	△4.38	<u>△1.45</u>
合計	110.75	<u>120.39</u>
希薄化後1株当たり当期利益又は 希薄化後1株当たり当期損失(△)(円)		
継続事業	115.13	121.84
非継続事業	△4.38	<u>△1.45</u>
合計	110.75	<u>120.39</u>

以上